

科目名: 子ども家庭支援論				担当教員氏名: 江藤 裕子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
2	2年次 前期	専門科目	講義	6単位 選択必修	保育士資格指定科目(必修)	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			DV支援電話相談や子育て支援相談員としての実務経験を活かして、特別なニーズを持つ家族への支援の特性を教授していく。			
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
家族を取り巻く社会環境の変化を背景に、子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。保育の専門性を活かしながら、様々な家族のニーズに応じた支援体制を提供するため、子ども家庭支援の現状と課題についての理解を深める。				・家庭 ・社会的状況 ・保育技術の活用 ・援助技術 ・支援体制 ・社会資源 ・連携方法		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9		
A 知識・理解力	子ども家庭支援の意義と役割について理解する。					
B 専門的技術	保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。					
B 専門的技術	子育て家庭に対する支援の体制について理解する。					
D 問題解決力	子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。					
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 50 %	発表: %	実技試験: %	その他: %		
特記事項: 授業終了時に適宜振り返りシートを配布し、記入後に回収し、その全体的なものをもってレポートとし、評価を行う。						
アクティブラーニング要素:						
課題解決型学習      ディスカッション、ディベート      グループワーク、プレゼンテーション      実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 提出物を適宜、筆記テストは別に定めた日時に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 提出物の意見を集約後、クラス全体に配布。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容		学習に必要な時間(分)
①【子育て家族・家庭とは】 家族の意味、家庭の形態				事前:教科書P7~10を読み理解しておく 事後:自身の家族観を振り返る	予習:120分 復習:120分	
②【子ども家庭をとりまく現状と課題】 家族の形態の変化				事前:教科書P11~13を読んでおく 事後:家族形態の変化を理解	予習:120分 復習:120分	
③【子ども家庭支援の目的】 子育て家庭をとりまく社会環境の変化				事前:教科書P14~15を読む 事後:少子化の背景の理解	予習:120分 復習:120分	
④【子ども家庭支援の必要性】 子育て困難のさまざま				事前:P33~「貧困化」を読む 事後:貧困の背景の理解	予習:120分 復習:120分	
⑤【子育て支援施策・次世代育成支援施策】 支援制度の国際比較				事前:P32~「高学歴化」を読む 事後:国による支援の違いを理解	予習:120分 復習:120分	
⑥【子ども家庭支援のあり方】 保育士による子ども家庭支援の意義と基本				事前:P37~「母親のみの育児」を読む 事後:父性母性理解の振り返り	予習:120分 復習:120分	
⑦【子ども家庭支援のあり方】 保育の専門性を活かした援助の実例 親支援プログラム				事前:P42~52「子育て負担感」を読む 事後:親支援プログラムの振り返り	予習:120分 復習:120分	
⑧【子ども家庭支援のあり方】 地域と保護者のエンパワーメント向上に資する支援の実例				事前:体験学習サイクルの演習 事後:母親たちの意見を振り返る	予習:120分 復習:120分	
⑨【子ども家庭支援のあり方】 保育の専門性を活かした援助の実例 地域資源の活用				事前:P52「制度の現状」の理解 事後:県内の支援体制を分析する	予習:120分 復習:120分	
⑩【保育士に求められる基本的態度】 参考資料を活用しての事例の検討				事前:事例の理解 事後:レポートの再考	予習:120分 復習:120分	
⑩【保育士に求められる基本的態度】 参考資料を活用しての事例の検討				事前:事例の理解 事後:レポートの再考	予習:120分 復習:120分	
⑫【多様な支援の展開と関係機関との連携】 DVの背景の理解 デートDVワークから				事前:P81~84「対象と援助」を読む 事後:P118~126「DV」を読む	予習:120分 復習:120分	
⑬【多様な支援の展開と関係機関との連携】 要保護児童とその家庭への支援				事前:P109~110を読む 事後:P111~117「育てにくさや障害」	予習:120分 復習:120分	
⑭【多様な支援の展開と関係機関との連携】 社会資源の提供と連携				事前:P129~131を読む 事後:受けた講義を振り返る	予習:120分 復習:120分	
⑮【子ども家庭支援の現状と課題】 保育士に求められる子ども家庭支援の全体像の理解				事前:要綱をひいた教科書内容を再読 事後:自身の理解を振り返る	予習:120分 復習:120分	
使用テキスト:『実践 家庭支援論』松本園子・他著 ななみ書房 ISBN 978-4-903355-65-8				参考文献など:『親教育プログラムのすすめ方』ひとなる書房 『子ども虐待としてのDV』星和書店		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 支援の方法、技術をより確実に理解するために、事例検討と体験型ワークショップを多く取り入れていきます。						